

令和6年度の重点と具体的方策

| 令和6年度の重点 | 達成するための方策 |
|--|---|
| <p>○知識・技能を身に付ける。 ○自分の考えを表現する。 ○課題を見付け協働的に学ぶ。</p> <p>【かんがえる子ども】</p> <p>(1) 自分の考えを表現する子ども</p> <p>自己決定 アウトプット</p> | <p>① 授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 複式指導等の充実、ICTの活用により自分の考えを表現する力を育成する。 挙手、指名、返事、立って発表の機会を授業でも大事に行う。(二戸授業モデル・焦点化) <p>② ICTの積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT (タブレット、電子黒板等) の活用で学習の充実を図り、情報活用能力を育成する授業を推進 <p>③ 基礎基本の定着を図る指導</p> <ul style="list-style-type: none"> パワーアップタイムで個人の苦手を練習し、基礎基本の定着を図る。 N I Eタイム等を活用し、読解力、表現力を伸ばす。 授業と連動した家庭学習の定着と習慣化。(家庭でのICT活用を推進) <p>④ 組織的な指導のサイクル化</p> <ul style="list-style-type: none"> 諸調査分析と課題解決策(確かな学力育成プラン)の活用 チェックポイント(誰が・何を・いつまで・どのように) 確実な実施 |
| <p>○自分を大切にする。 ○友だちと助け合う。 ○自分から行動する。</p> <p>【思いやりのある子ども】</p> <p>(2) 自分を大切に、友だちと助け合う子ども</p> <p>自己肯定感 自己実現</p> | <p>① 児童会のめあて“4つの「あ」”の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に「あかるいあいさつ」を実践する。自分から相手に聞こえる声でできるようにし、できたことを自分で認知できるような指導をする。 <p>② 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> すき間読書、家読、図書祭り等により毎日読書に親しませる。 <p>③ 異年齢集団を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動、登校班、業間運動、集団遊びなどで、自分を大切にしながら友だちと助け合うことができるように指導する。 <p>④ 復興教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災を語り継ぐ「ひとづくり」を推進するために、「きずなの日」「家族時間」を中心に復興学習、防災学習に取り組む。 「自分の命は自分で守る」ために、非常時に主体的に対応できる技能を身に付けさせる。 |
| <p>○心身の健康について知る。 ○心身の健康を守る。 ○あきらめずに挑戦する。</p> <p>【たくましい子ども】</p> <p>(3) 自分の心身の健康を守り、あきらめずに挑戦する子ども</p> <p>チャレンジ あきらめない</p> | <p>① 基本的な生活習慣、メディアコントロールの正しい判断の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会と連携し、正しい生活リズム、歯みがき、望ましい食生活、メディアコントロールの大切さを実感させ、習慣化を指導する。 <p>② 体力づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標をもち達成できるように(あきらめない)業間運動(マラソン・なわとび)や外遊び等に取り組ませ、運動習慣を確立させる。 <p>③ 健康指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯科保健指導及び食育指導の充実を図り、健康な生活を実践する力を付ける。 |
| <p>《地域との連携》</p> <p>保護者、地域とともにある活動</p> | <p>① 学校運営協議会(コミュニティスクール)の推進。</p> <p>② 地域の自然や人と関わる教育活動(伝承活動・地域学習等)を展開する。</p> <p>③ 校報「きらめけ二戸西小」を全戸回覧し、地域の学校理解、情報共有する。</p> <p>④ 学校運営協議会委員、PTA、民生児童委員会議、老人クラブ連合会、交通安全協会、子ども見守り隊、公民館、農協青年部関係機関と連携・協働による児童の育成に努める。</p> |